

2011/3/31現在

4/7回答33病院 ※宮城利府エキサイ会は4/6時点

病院の被災状況	1(1) 建物の障害	ほぼ正常	23	宮城10(仙医、石赤、労災、大崎、県南、気仙沼、塩釜赤石、利府エキサイ会、がんC、仙赤)岩手6(医大、磐井、県中、大船渡、久慈、中部)福島5(南東北、会津竹田、いわき共立、太田、医大)山形1(新庄)秋田1(大学)青森1(県中)
		軽度またはなし	6	宮城1(大学)山形4(日本海、市立済生、県中、大学)青森1(弘大)
		中等	2	岩手1(釜石)宮城1(厚生)
		高度	1	福島1(郡山星総合)※病棟閉鎖
	1(2) ライフライン	問題なし	27	宮城7(大崎、労災、石赤、気仙沼、大学、県南、利府エキサイ会)岩手7(医大、磐井、県中、釜石、大船渡、久慈、中部)福島5(医大、いわき共立、会津竹田、南東北、太田)山形5(日本海、市立済生、大学、県中、新庄)秋田1(大学)青森2(弘大、県中)
		一部	3	宮城3(仙医、厚生、塩釜赤石)
	1(3) 検査機能	ほぼ正常	26	宮城10(大崎、労災、石赤、仙医、気仙沼、大学、県南、厚生、塩釜赤石、利府エキサイ会)岩手3(磐井、釜石、大船渡)福島5(医大、いわき共立、会津竹田、南東北、太田)山形5(日本海、市立済生、大学、県中、新庄)秋田1(大学)青森2(弘大、県中)
		一部不可	4	岩手3(医大、県中、久慈、中部)
		不可能	1	福島1(郡山星総合)
	1(4) 医療従事者	ほぼ同じ	28	宮城9(大崎、労災、石赤、大学、県南、塩釜赤石、利府エキサイ会、がんC、仙赤)岩手6(医大、県中、磐井、大船渡、久慈、中部)福島4(医大、いわき共立、会津竹田、太田)山形5(日本海、市立済生、大学、県中、新庄)秋田1(大学)青森2(弘大、県中)
一部不在		5	宮城3(仙医、気仙沼、厚生)岩手1(釜石)福島1(南東北)	
がん診療体制	2(1) 手術	ほぼ同じ	19	宮城7(大崎、大学、県南、塩釜赤石、利府エキサイ会、がんC、仙赤)岩手4(医大、県中、磐井、中部)福島4(医大、いわき共立、会津竹田、太田)山形2(県中、新庄)秋田1(大学)青森1(県中)
		一部縮小	9	、
		大部分縮小	3	宮城3(仙医、石赤、気仙沼)
		停止	2	岩手1(釜石)福島1(郡山星総合)
	2(2) 放射線治療	ほぼ同じ	24	宮城7(大崎、労災、仙医、大学、厚生、塩釜赤石、がんC)岩手5(医大、磐井、県中、久慈、中部)福島4(医大、いわき共立、会津竹田、太田)山形5(日本海、市立済生、大学、県中、新庄)秋田1(大学)青森2(弘大、県中)
		一部縮小	2	宮城1(石赤)福島1(南東北)
		大部分縮小	1	宮城1(気仙沼)
		無し	6	宮城3(県南、利府エキサイ会、仙赤)岩手2(釜石、大船渡)福島1(星総合)
	2(3) 化学療法	ほぼ同じ	25	宮城7(大崎、労災、大学、県南、厚生、塩釜赤石、利府エキサイ会)岩手6(医大、磐井、大船渡、県中、久慈、中部)福島4(医大、いわき共立、会津竹田、太田)山形5(日本海、市立済生、大学、県中、新庄)秋田1(大学)青森2(弘大、県中)
		一部縮小	2	宮城1(仙医)福島1(南東北)
		大部分縮小	1	宮城1(気仙沼)
		停止	2	宮城1(石赤)岩手1(釜石)※4/4再開
2(4) 緩和医療	ほぼ同じ	25	宮城7(大崎、労災、大学、県南、塩釜赤石、利府エキサイ会、がんC)岩手6(医大、県中、磐井、大船渡、久慈、中部)福島4(医大、いわき共立、会津竹田、太田)山形5(日本海、市立済生、大学、県中、新庄)秋田1(大学)青森2(弘大、県中)	
	一部縮小	3	宮城2(仙医、気仙沼)福島1(南東北)	
	大部分縮小	2	宮城1(厚生)岩手1(釜石)	
震災後のがん診療	3(1) 患者受入	無し	18	宮城7(石赤、県南、厚生、気仙沼、塩釜赤石、利府エキサイ会、がんC)岩手3(磐井、釜石、大船渡)福島1(医大)山形4(日本海、市立済生、大学、新庄)青森2(弘大、県中)
		10名以上	13	宮城4(大崎、労災、仙医、大学)岩手3(医大、久慈、中部)福島4(いわき共立、会津竹田、南東北、郡山星総合)山形1(県中)秋田1(大学)
		100名以上	2	岩手1(県中)福島1(太田)
	3(2) 患者対応	積極的受入	9	宮城1(大学)岩手3(医大、大船渡、県中)福島2(いわき共立、太田)山形2(大学、県中)秋田1(大学)
		若干受入	19	宮城8(大崎、労災、仙医、県南、塩釜赤石、利府エキサイ会、がんC、仙赤)岩手3(磐井、久慈、中部)福島3(医大、南東北、会津竹田)山形3(日本海、市立済生、新庄)青森2(弘大、県中)
		受入困難	5	宮城3(石赤、気仙沼、厚生)岩手1(釜石)福島1(郡山星総合)

震災後のがん診療	3(3) 患者状態	手術等積極治療要	8	宮城3(大崎、がんC、仙赤)岩手1(医大)福島3(医大、いわき共立、南東北)山形1(県中)
		緩和・合併症治療 両者半々	5	宮城4(労災、仙医、県南、塩釜赤石)岩手(久慈)
		その他	5	宮城1(大学)岩手3(県中、大船渡、中部)福島1(会津竹田)
			11	宮城3(石赤、厚生、利府エキサイ会)岩手2(磐井、釜石)福島1(太田、郡山星総合)山形2(日本海、大学)秋田1(大学)青森1(弘大)
	無回答	4	宮城1(気仙沼)山形2(市立済生、新庄)青森1(県中)	
他医院への紹介	3(4)	無し	21	宮城8(大崎、石赤、労災、仙医、県南、塩釜赤石、利府エキサイ会、がんC)岩手5(医大、磐井、大船渡、久慈、中部)福島1(会津竹田)山形4(日本海、市立済生、大学、新庄)秋田1(大学)青森2(弘大、県中)
		10名以上	9	宮城3(気仙沼、大学、仙赤)岩手2(釜石、県中)福島2(南東北、太田、郡山星総合)山形1(県中)
		100名以上	3	宮城1(厚生)福島2(医大、いわき共立)
今後の必要な対策	(1)専門医派遣等人的支援		19	
	(2)拠点病院への受入体制整備		32	
	(3)相談窓口の周知		28	
	(4)現地に相談窓口開設		21	
	(5)在宅から入院への一時受入体制		23	
	(6)医師会との連携		24	

- ・中期的な居住環境の整備がん患者を含めて医療依存度の高い方への優先的考慮(宮城・大崎)
- ・仮設住宅・仮居住区から近隣のがん診療拠点病院・地域病院までの交通手段の補助(宮城・大崎)
- ・連携してがん診療に協力可能な地域病院のリクルート、人的支援(宮城・大崎)
- ・高度被災地で職場早期復帰が困難な医療者の臨時雇用など効果的配置(宮城・大崎)
- ・原発事故により長期戦となり離脱していく医療者(特に医師)の補充が問題となる(福島・いわき)
- ・非常勤勤務医の交通手段の問題(福島・いわき)
- ・被災した患者さんの診療情報が乏しいこと(どんな手術をしたか、どこに再発しているのかetc)が大きな問題と考えられたケースが散見(福島・会津)
- ・災害時には一般の患者・家族では移動手段の確保が極めて困難になる。外来化学療法等では広域ネットワークより、より近い病院・診療所間でのネットワークを作り活用することが望まれる(山形・大学病院)
- ・被災地であっても可能な限りがん治療は行うべき。特に緩和医療においては患者さんの住んでいる地域で行うことが大きなメリットになる(岩手・大船渡)
- ・早期の病院機能回復に行政が全力を(岩手・釜石)
- ・拾い上げシステム(検診)も麻痺しているため、現在よりも進行がんの患者数がたまっていく(増加する)と思われ、これを扱う施設が 恐慌をきたす可能性があり、流れをうまく制御する必要あり(宮城・塩釜赤石)